

市長記者会見資料
4. 5. 25
公園緑地課

松本市緑化協会による緑化事業の受入れについて

1 趣旨

松本市緑化協会から夏季の期間、松本駅前広場へ緑陰スペース創出のため、大型プランター設置事業の申出がありました。

2 経過

第36回全国都市緑化信州フェア（2019年開催）において、大型プランターによる緑陰スペース及びミニ庭園を設置したことをきっかけに、令和3年度までその取組みの一部を継続し松本駅前広場へミニ庭園を設置。

3 事業の内容

(1) 主催団体

松本市緑化協会 理事長 八木澤 清隆
〒390-0851 松本市島内 1259-137

(2) 緑陰スペースの創出として

大型プランター3基（1基あたりH=1.2m、w=2.0m×2.0m）
樹種：モミノキ[H=7.0m]、クヌギ[H=7.0m]、アズキナシ[H=7.0m]

(3) 設置場所

松本駅前広場

(4) 設置期間

5月26日（木、20時頃）から9月15日（木）

4 その他

松本市緑化協会が、大型プランター設置期間中の維持管理や水やりを行います。

（裏面に続く）

【参考：モミノキ】

秋田県及び岩手県以南の本州から九州、そして屋久島に至るまでの広い範囲に分布するマツ科の常緑針葉樹。クリスマスツリーに使われる代表的な樹木であり西洋風のイメージを持つが、日本に生じるのは我が国の固有種。

主幹が真っすぐに伸び、枝を垂直に張る姿は美しいが、相当な大木となることから庭木として使われることは少ない。材木としての耐久は乏しいものの、材が白くて清涼感があること、ネズミや害虫に強いことから木棺、卒塔婆、葬祭具の材料に、また材に匂いがなくことや抗菌作用があることから、おひつ、箸、かまぼこ板、茶筒、包装（紅茶用モミチェスト）など食品の容器に使われる。

【参考：クヌギノキ】

青森県を除く本州、四国、九州及び沖縄に自生するブナ科の落葉高木。日本に限らずアジア東北部～ヒマラヤの山地や丘陵に分布する。

縄文時代からドングリを食用し、「国の木」が語源とされるほど日本人には馴染みが深く、古事記や万葉集にもその名が登場する。

切り倒しても20年ほどで元どおりになるという再生力の高さから、薪炭やシイタケの原木として使われ、何度も伐採されて株立ち状になったものが多い。

【参考：アズキナシ】

北海道から九州の広い範囲に分布するバラ科アズキナシ属の落葉樹で、他の落葉樹と共に林内に自生する。端整な樹形、清楚な花、秋にできる赤い果実に観賞価値があるため、雑木の庭に好んで使われ、密かな人気がある。

樹皮は染料に、材は建築、家具、道具の柄、器具などに用いられる。

